

行政事業レビューシート (警察庁)						
予算事業名	生活安全警察		事業開始年度	-		作成責任者
担当部局庁	警察庁		担当課室	生活安全企画課		生活安全企画課長 砂川 俊哉
会計区分	一般会計		上位政策	生活安全警察		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	犯罪の予防、サイバー犯罪や経済犯罪の取締り、銃砲刀剣類等の規制、少年非行の防止、少年の保護等を通じて市民生活の安全と平穏を確保することを目的としている。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	市民生活の安全と平穏を確保するため、全国的な影響を考慮しながら、モデル事業、調査研究を実施しているほか、全国的な見地から警察庁が直接関与すべきものについて委託事業を実施している。					
実施状況	防犯ボランティアの支援、街頭防犯カメラシステムの調査研究、児童ポルノ流通防止の調査研究、子ども等を守る匿名通報受付業務の外部委託、インターネット上の違法情報の監視・情報収集、一般利用者からの違法・有害情報の通報に基づき警察やプロバイダに連絡するホットライン業務の委託等を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	518	519	498	431	865
	執行額	297	315	409		
	執行率	57%	61%	82%		
	総事業費(執行ベース)	304	320	410		
自己点検	支出先・ 使途の把握 水準・ 状況	警察庁において執行した事業については、支出先を把握している。また、都道府県警察に予算配賦した事業については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先を把握している。				
	見直しの 余地	市民生活の安全と平穏を確保するためには効果的であることから、同様のモデル事業、調査研究、委託事業等を引き続き実施する必要がある。 個々の事業の実施に当たっては、一般競争入札や仕様・単価の見直し等により、引き続き競争性の高い調達の実施に努める。				
予算監視 の・ 効率化チ ーム	<p>1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 ・「インターネット・ホットライン業務」については、行政事業レビューシートにおける自己点検結果を踏まえて必要な検討を実施し、平成23年度予算の概算要求に反映させること。 ・モデル事業やIT機器の調達について、平成23年度予算の概算要求を行う場合には、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算額の削減に努めること。</p> <p>3 レビューシートのわかりやすさに関する所見 おおむねわかりやすい。</p>					
補記						

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

別添サブシート当初 2 - 1 ~ 9 のとおり。

< 各サブシートの予算事業名 >

- 当初 2 - 1 街頭防犯カメラシステムモデル事業
- 当初 2 - 2 防犯ボランティア支援事業の推進
- 当初 2 - 3 企業の社会貢献活動情報発信モデル事業
- 当初 2 - 4 海外における児童ポルノのブロッキングの現状に関する調査研究
- 当初 2 - 5 子ども等を守るための匿名通報モデル事業
- 当初 2 - 6 インターネット・ホットライン業務
- 当初 2 - 7 サイバーパトロール業務
- 当初 2 - 8 犯罪情勢分析手法の高度化に向けた調査研究等
- 当初 2 - 9 アクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況等に関する調査及び広報啓発等